

## 高1 東大総合演習 4月 英語

ZEF1B1-Z1A1-01

1

次の英文を読んで、以下の設問に答えよ。

(50点)

- 1 What do you think chess and soccer have in common? The answer is that they are both sports. You may be surprised to hear that chess is a sport, but it is. It is one of the most popular ‘mind sports’ in the world. About 300 million people in more than 150 countries enjoy chess. In the sports section of many newspapers in
- 5 Europe and China, there is news about chess matches and tournaments.

But in Japan, chess, *go*, and other games where you use your brain are considered cultural events. In Japan, you have to use your body to play a game for it to be called a sport. Actually, the meaning of “sport” in Japan is different from in most other countries. During the Meiji period, sport was used by soldiers to train their

10 bodies and help them win wars. [ ① ] “sport” is only about physical activity in Japan. But the real meaning of “sport” is to have fun and use both the mind and the body.

Yes, sport uses both the mind and the body. For example, most *sumo* matches are only a few seconds long. In those few seconds, a *sumo* wrestler thinks a lot

15 about how to win. “When I attack, should I push him or pull him? Oh, he’s moving this way. Should I move to the left or to the right?” And he uses his body at the same time. You have to be both \*athletic and clever in order to become a strong *sumo* wrestler.

② The same thing can be said of team sports and games. A soccer player runs

20 around the soccer field for 90 minutes, and communicates with his teammates who are in other places on the field. Of course, they cannot talk to each other. A baseball pitcher and a catcher must use eye communication in order to prevent the batter hitting the ball. Again, you have to be both athletic and clever in order to become a good soccer player or a baseball player.

25 So you need to use your brain in any kind of sport. Maybe it is okay to say that all sports are mind sports to some degree.

Now, let’s take a look at mind sports. There are many types of mind sports. There are table games such as chess, memory games such as *hyakunin issyu*, puzzle games such as crossword puzzles, and other traditional games such as *karuta*.

30 Some traditional local mind sports are now enjoyed around the world. For example, it is said that *go* was born in China, and it is now enjoyed by 60 million people in 68 countries.

Mind sports have many things in common with physical sports. First of all, a mind sport player needs to practice. By practicing, the player improves his or her

35 fight and stamina. Practicing for a mind sport also improves the player’s ability to concentrate and focus. And of course, in all mind sports fair play is essential.

③ Both mind sports and physical sports give you the chance to learn about other



(6) 本文の内容に一致するものを2つ選び、記号で答えよ。(8点)

- ア Many newspapers in Europe like to contain news about soccer rather than news about chess.
- イ In Japan a “sport” has meant an activity in which you use only your body.
- ウ Few players are expected to use their minds in physical sports.
- エ Some of the mind sports which were born in one local area have become international today.
- オ Mind sport players don’t have to follow the rules as seriously as physical sport players.

**1****解答**

- (1) ウ
- (2) (強くなる〔勝つ〕ためには) 運動能力があり, かつ賢くなければならないこと。
- (3) 「全訳」の下線部参照。
- (4) 年齢, 性別に左右されず平等に勝負できるスポーツであること。(29字)
- (5) ① イ ② ウ ③ ア
- (6) イ, エ

**速解! 本問のツボ****① 文章の内容を正しく理解できていたかをチェックしよう**

【概要】 頭脳スポーツと肉体スポーツについての文章である。全体の流れをまとめてみよう。

チェスのようなゲームはヨーロッパや中国ではスポーツとされているが、日本では肉体的な運動を伴うスポーツとは区別している。しかし、スポーツとは頭脳も肉体も使うものである。  
〔第1～2パラグラフ〕



個人競技と団体競技のいずれも勝つためには身体能力も頭脳も必要であるという具体例。  
〔第3～4パラグラフ〕



すべての肉体スポーツはある程度頭脳スポーツであると言ってもよい。〔第5パラグラフ〕



頭脳スポーツの例, 肉体スポーツとの共通点と相違点。〔第6～9パラグラフ〕

(5), (6)はこの流れをふまえて考える。

**② 重要な設問のポイントをチェックしよう****(2) 下線部の前後で繰り返し使われている表現に注目しよう**

第3, 4パラグラフ両方で you have to be both athletic and clever in order to ... と言っていることから, the same thing が何を意味しているかを導けることを見抜ける。

**(3) 和訳問題は重要イディオム, 構文を確認しよう**

both A and B, give + O<sub>1</sub> + O<sub>2</sub>, the way + S + V などの表現や構文をつかみ, 英文の構造を理解してから訳す。下線部の主語は, Both mind sports and physical sports である。また, give + O<sub>1</sub> + O<sub>2</sub> の 'O<sub>2</sub>' にあたるのは the chance であり, to 以下は the chance を修飾している。

**厳選! words & phrases**

- both A and B 「AとBの両方とも」
- the way + S + V 「～が…する方法, 仕方」 = how + S + V

## 解説

(1) 空所を含む第2パラグラフは、「チェスもサッカーもスポーツだ」という第1パラグラフの内容に反し、「チェスはスポーツでない」という日本の考え方について述べられている。空所の前後の流れは、「明治時代、スポーツは、肉体を訓練し戦争に勝つのに役立つため、兵士によって行われた。」→「〔 〕スポーツは、日本では肉体的な活動のことだけを指す。」である。これは、「原因」→「結果」という流れなので、ウ「そういうわけで…」が正解となる。エ「それは…だからである。」は、「結果」→「原因」の流れになるので注意。逆接的内容のア「それにもかかわらず」とイ「一方」は不適切。

- soldier (兵士)
- physical (肉体的)

(2) 下線部を含む文は、「同じことが団体で行うスポーツや試合にも言える。」という意味。第3パラグラフでは、個人競技の相撲が取り上げられ、下線部を含む第4パラグラフでは団体競技のサッカーと野球が取り上げられているが、どちらのスポーツにも共通することは、両パラグラフの最終文 you have to be both athletic and clever in order to … にまとめられている。したがって、強くなる〔良い選手になる〕ために「同じこと」とは、運動能力があり、かつ賢くなければならないことである。

(3) 下線部全体は、give + O<sub>1</sub> + O<sub>2</sub>を使った SVOO の文型。主語には、both A and B (AもBも両方とも) が使われている。また、physical (肉体的) に対し、mind はここでは「心」ではなく「頭；頭脳」が合う。したがって主語は、「頭を使うスポーツ〔頭脳スポーツ〕も体を使うスポーツ〔肉体スポーツ〕もどちらも」となる。目的語の‘O<sub>1</sub>’に当たる部分は‘人一般’を指す you なので、訳出しない方が自然である。‘O<sub>2</sub>’に当たる部分は、the chance to learn about A and B という形なので、「AやBについて学ぶ機会」となる。A は other cultures, B は the way other people think である。the way + S + V は how + S + V と同意で「～が…する方法」なので、この部分の訳は「ほかの人々の考え方について学ぶ機会」となる。したがって全体では、「頭を使うスポーツも体を使うスポーツもどちらも、異文化やほかの人々の考え方について学ぶ機会を与えてくれる。」となる。

(4) 最終パラグラフには、頭脳スポーツと肉体スポーツの違いが書かれており、肉体スポーツは若者向けだが、頭脳スポーツはどの年齢の人にも向いているし、性別も関係ないとある。また、最終文には、頭脳スポーツは、すべての人が平等である競技場を提供してくれるとある。よって、頭脳スポーツは年齢、性別に関係なく、万人が平等に楽しめる特徴をもっているということをまとめる。

- matter (重要である)
- provide (～を与える)

(5) ④ 空所を含む文は「チェスをする人とサッカー選手はお互いに( )。』という意味。本文では頭脳スポーツと肉体スポーツの共通点を中心に述べているので、**イ**「似ている」が正解。その他の選択肢の意味は**ア**「異なっている」、**ウ**「共通点がない」、**エ**「頼っている」。

⑤ セミコロン (;) は、複雑な一文を分けるために使われ、前に述べたことを言い換えたり、理由を述べたりするときに使われる。think over the way they will beat the other (相手を負かす戦術を練る) とあるので、それには本文で述べられているように、clever であることが必要だとわかる。したがって、**ウ**「頭がよい」が正解。その他の選択肢の意味は**ア**「力強い」、**イ**「注意深い」、**エ**「愉快的」。

⑥ 練習によって得られるのは、第7パラグラフにあるように fight and stamina (闘争心と持久力) や ability to concentrate and focus (集中力) といった力である。この力を表しているのは、**ア**「すぐに疲れたりすることなく競技をする力」である。その他の選択肢の意味は**イ**「試合に勝ちたいという強い意志」、**ウ**「他人と協力したいという強い願望」、**エ**「すぐに切れるスタミナ」。

#### 【要約文訳】

チェスをする人とサッカー選手はお互いに似たところがある。まず1つ目は、頭がよくなければいけないということである。それは、相手を負かす方法を熟考しなければならないからだ。2つ目は、練習をたっぷりしなければいけないことだ。そうすることで、すぐに疲れたりすることなく競技する力が身に付くからである。

(6) **ア** 「ヨーロッパの多くの新聞は、チェスに関するニュースよりもサッカーに関するニュースを載せるのを好む。」の意味。新聞のスポーツ欄にチェスの試合の記事が載ることは、本文 11.4～5 に書かれているが、サッカーのニュースの方を大きく取り上げるとは書かれていないので誤り。

**イ** 「日本で『スポーツ』と言えば、これまで体だけを使う活動のことであった。」の意味。1.10 に “sport” is only about physical activity in Japan (日本では、『スポーツ』(という言葉) は肉体的な活動についてのみ使われる) とある。これは明治時代の軍隊から始まった伝統である。したがって一致する。

**ウ** 「肉体を使うスポーツでは、選手が頭を使うとはほとんど考えられていない。」の意味。第3パラグラフの相撲や第4パラグラフのサッカーや野球の例で、肉体スポーツでも頭を使ったプレーは当然必要だと述べられているので誤り。

**エ** 「ある地方で生まれた頭を使うスポーツの中には、今日国際的になっているものもある。」の意味。1.30 の Some traditional local mind sports are now enjoyed around the world. (地方で生まれた伝統的な頭脳スポーツの中には、現在世界中で行われているものもある。) という記述に

like ~ (〜と同じように)

have ~ in common with ... (…と〜を共通に持つ)

think over ~ (〜を熟考する)

beat (〜を打ち負かす)

ability (能力)

focus (精神を集中させる)

run out (切れる)

contain (〜を含む)

ZEF1B1-Z1C1-04

一致する。

**オ** 「頭を使うスポーツをする人は、肉体を使うスポーツをする人ほどまじめに規則に従う必要はない。」という意味。L.36 の *in all mind sports fair play is essential* (すべての頭脳スポーツにおいて、フェアプレーは不可欠である) という記述に反するので誤り。

follow (～に従う)

essential (不可欠の)

### その他の語句・表現

- L.4 section 「部分；部門」
- L.10 help O (to) … 「O が…するのを手伝う」 help は目的語の後に不定詞または動詞の原形をとる。
- L.22 ～ 23 prevent O (from) …ing 「O が…するのを防ぐ」 from は省略されることがある。
- L.26 to some degree 「ある程度」
- L.36 concentrate 「努力を集中する」 cf. concentrate on ～ 「～に集中する」
- L.42 all you have to do is (to) ～ 「～しさえすればいい」
- L.43 ～ 44 Mind sports provide a playing field *where* everyone is equal. の *where* は a playing field を先行詞とする関係副詞である。これを関係代名詞を使って表すと Mind sports provide a playing field *in which* everyone is equal. となる。

## 全訳

チェスとサッカーにはどんな共通点があると思うだろうか。答えは、両者ともにスポーツだということだ。チェスがスポーツであるというのを聞くと驚くかもしれないが、実際そうなのである。チェスは、世界で最も人気のある「頭脳スポーツ」の1つだ。150を超える国の約3億人がチェス愛好家だ。ヨーロッパや中国の多くの新聞のスポーツ欄には、チェスの試合や勝ち抜き戦のニュースが載っている。

しかし日本では、チェスや碁、その他の頭を使うゲームは文化的なものと考えられている。日本では、スポーツと呼ばれるためには、体を使って勝負をしなくてはいけない。実のところ、日本で使われる『スポーツ』の意味は、他のほとんどの国々の場合と異なる。明治時代、スポーツは体を鍛え、戦争に勝つのに役立つようと、兵士に利用された。そういうわけで、『スポーツ』は日本では肉体的な活動のみを指すのである。しかし、『スポーツ』の本当の意味は、楽しみながら頭と体の両方を使うということだ。

確かに、スポーツは頭と体の両方を使う。例えば、大部分の相撲の試合は、わずか数秒で終わる。その数秒間に、力士はどうやったら勝てるかということを懸命に考える。「攻撃する時は、相手を押すのがよいか、引っ張るのがよいだろうか？ ああ、相手はこう動いている。左と右のどちらに動いたらいいだろう？」そして、その力士は、同時に体も使うのだ。強い力士になるには、運動能力があるのと同時に頭がよくなければならない。

同じことは、チームで行うスポーツや試合にも当てはまる。サッカー選手は、90分間競技場を駆け回り、競技場の他の場所にいるチームメイトと気持ちを伝え合う。当然のことだが、選手たちはお互いに話をするにはできない。野球の投手と捕手は、打者にボールを打たれないように、目で意思を伝え合わなければならない。この場合も言えることだが、すぐれたサッカー選手や野球選手になるためには運動能力があるのと同時に頭がよくなければならないのである。

したがって、どんな種類のスポーツでも、頭を使う必要がある。すべてのスポーツは、ある程度

頭脳スポーツであると言えるのではないだろうか。

さて、今度は少し頭脳スポーツを見てみよう。頭脳スポーツにはたくさんの種類がある。チェスのようにテーブルについてするゲーム、百人一首のように記憶力を試すゲーム、クロスワードパズルのような謎解きゲーム、さらにカルタのような伝統的ゲームがある。特定地域で生まれた伝統的頭脳ゲームの中には、現在世界中で行われているものもある。例えば、碁は東南アジア生まれだが、現在 68 カ国、6 千万人の人が楽しんでいる。

頭脳スポーツは肉体スポーツと多くの共通点がある。第一に、頭脳スポーツ選手も練習をする必要があることである。練習によって、闘争心と持久力が増すからである。また、頭脳スポーツの練習は選手の集中力も強化してくれる。当然のことだが、頭脳スポーツでも例外なく、フェアプレーが不可欠だ。

③頭脳スポーツも肉体スポーツもどちらも、他の文化や他の人の考え方を学ぶ機会を与えてくれる。意思疎通をはかるといふ経験をするおかげで、世の中をよりよく理解できるようになるのだ。

しかし、頭脳スポーツと肉体スポーツには大きな違いが 1 つある。大部分の肉体スポーツは、若者向けであるが、頭脳スポーツは年齢を問わない。ただ頭脳を働かせればいいのだ。性別も関係ない。頭脳スポーツは、5 歳の少年と 95 歳のおばあさんが対等に楽しめるのだ。頭脳スポーツは、だれもが平等でいられる競技場を提供してくれるのである。